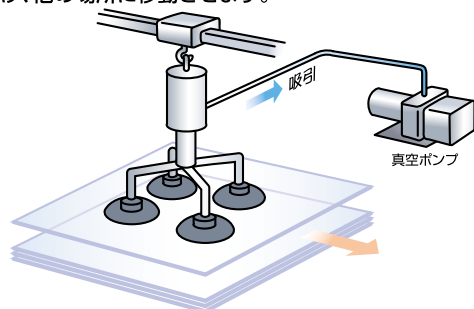


# 低真空を利用した様々な用途

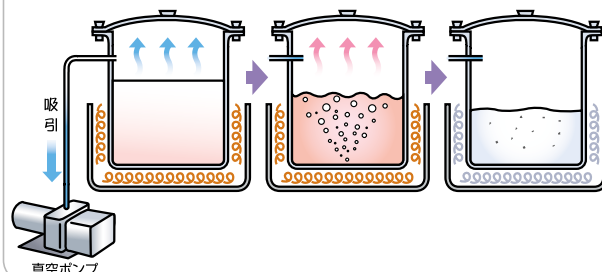
## 吸着・搬送

吸着盤を被搬送物に押し付け、真空と大気の圧力差を利用して持ち上げ、他の場所へ移動させます。



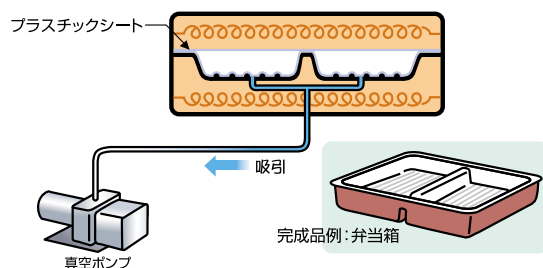
## 真空乾燥

水分の多い物質の周囲を真空にすることにより、沸点が下がるため、低温で水を蒸発させることができ、補助的に加熱することにより、蒸発を促進できます。



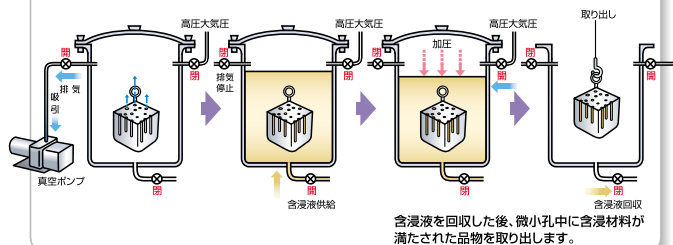
## 真空成形

金型と成形材料との間を真空にして、成形材料を金型に密着させます。さらに成形材料を軟化させるために加熱します。



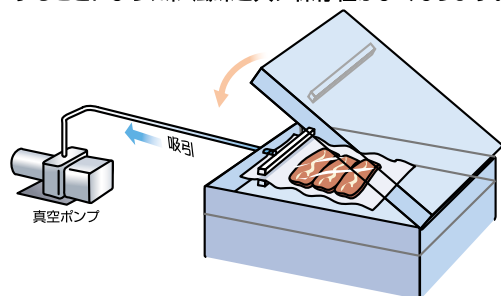
## 真空含浸

多孔性の品物の周囲を真空にして微小孔中の空気を除去したあと、微小孔中に含浸したい液状材料内に浸漬し、周囲を大気圧または加圧状態にすることで微小孔中に含浸材料を満たします。含浸材料にはワニスや油などの絶縁物質、樹脂などが用いられます。



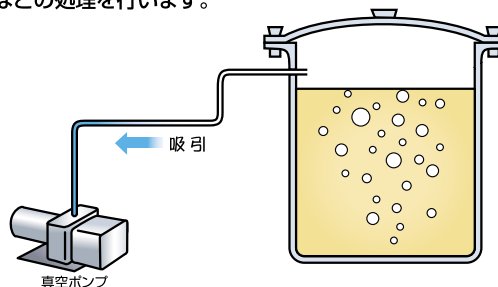
## 真空包装

食肉、鮮魚等の食品をポリ袋などで包装する際、ポリ袋内を真空にすることにより、味・風味と共に保存性がよくなります。



## 真空脱気

食品、油、樹脂等を真空で排気し、中に含まれる気体（主として空気）を除去することにより、酸化防止、泡の発生防止、脱臭などの処理を行います。



※他にも幅広い用途で低真空技術が活用されています。